

和歌山縣報

第千五十五號

明治四十四年三月十八日

○調令

○和歌縣訓令第十二號

郡役所
町村役場

縣稅木材川下稅取扱規程左ノ通相定メ明治四十四年四月一日ヨリ施行ス
明治三十九年三月本縣訓令第七號ヘ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

明治四十四年三月十八日

和歌山縣知事 川上親晴

縣稅木材川下稅取扱規程

第一條 木材検査所又ハ町村役場ニ於テ木材川下稅賦課細則第四條ノ届出アリタルトキヘ直ニ課稅標準ノ検査ヲ行フヘシ
第二條 木材検査所又ハ町村役場ニ於テ木材ノ検査ヲ了シタルトキヘ筏組ノモノニ在リテハ一床每左右ノ両端ニ其ノ他ノ木材ニ在リテハ切口ノ一方ニ朱肉ヲ以テ捺印シ別紙第一號書式ノ檢

査簿ニ検査事項ヲ記入シ第二號書式ノ検査書ト割印シ其ノ検査書ハ木材検査所ニ限リ郡役所所在地ニ在リテハ郡長ニ其ノ他ハ所在地ノ町村長ニ送付スヘシ

前項検査所ノ送付ヲ受ケタル郡長又ハ町村長若ハ第一條ニ依リ検査ヲ爲シタル町村長ハ直ニ徵稅ノ手續ヲ爲スヘシ

町村長ニ於テ前項ノ徵稅ヲ爲シタルトキハ納稅人ノ住所氏名及課稅標準稅金額ヲ直ニ郡長ニ報告シ稅金ハ縣稅徵收細則第四號書式ノ拂込書ヲ添へ縣金庫ニ拂込ムヘシ

第三條 木材ニ押捺スヘキ捺印ノ雛形左ノ如シ

税 直徑八分 鐵製

第四條 木材川下稅ノ豫納ヲ申出タル者アルトキハ郡長若ハ町村長ハ第三號書式ニ依リ豫納告知書ヲ發スヘシ

第五條 町村長ニ於テ豫納ヲ受ケタルトキハ郡長ニ之ヲ送付スヘシ

豫納金ハ郡役所縣出納吏ニ於テ保管スヘシ

第六條 稅金ノ豫納ヲ受ケタル郡長町村長ハ豫納者ノ住所氏名及豫納金額ヲ其ノ検査ヲ爲スヘキ木材検査所ノ主任又ハ町村長ニ通報スヘシ

第七條 前條ノ通知ヲ受ケタル木材検査所主任又ハ町村長ハ検査ノ都度納稅者ノ氏名、納稅額及課稅標準等ヲ豫納通知ヲ發シタル郡長又ハ町村長ニ通報スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタル町村長ハ其ノ事項ヲ直ニ郡長ニ報告スヘシ

第八條 郡長木材検査所主任及町村長ハ第四號書式ノ豫納簿ニ依リ豫納金ト本納額トノ差引計算

ヲ明カニスヘシ

第九條 豫納金ニ對スル本納ノ手續ハ郡長ニ於テ之ヲ爲スヘシ
第十條 木材川下稅賦課細則第五條ニ依リ納稅管理人許可ノ稟請ヲ受ケタル郡長ハ其ノ適否ヲ審
査シ確實ト認ムルモノニ限り許可ヲ與フヘシ
郡長ニ於テ前項ノ許可ヲ與ヘタルトキハ木材ノ検査ヲ爲スヘキ検査所主任又ハ町村長ニ通知ス
ヘシ

第十一條 木材検査所又ハ町村役場ニ於テ木材川下稅賦課細則第五條ノ許可ヲ得タルモノ、検査
チ丁シタルトキハ第五號書式ニ依リ其ノ納稅地市ナルトキハ知事ニ其ノ他ハ郡長ニ報告スヘシ
第十二條 奈良縣ト共同シテ木材ノ検査ヲ行フ検査簿ヘ第六號書式ニ依ルヘシ此ノ場合ニ於テハ
届書ニ兩縣ニ屬スル課稅標準タル木材ノ種類、間數、床數、才數等稅金算出ノ基礎トナルヘキ事
項ヲ記載シ置クヘシ

書式第一號ノ一

木材検査簿用紙

印 刻	明治 年 月 日	木主	縣 村 大字	役夫	氏名	計

印 刻		明治年月日	木主
種類	番號第	號	氏名
		縣	村町大字
		氏名	筏夫

書式一號／二

板検査簿用紙

舊式第二號ノ一

檢
查
書

明治
年
月
日

氏木主

四

村町
大字

				印 制			
類種	號番	明治 年 月 日	檢 查 書	額稅	數才	數本	攝稱
板	第 號 氏名 氏名	木主	縣 村町大字	一金			
計							計

書式第二號ノ二

之
何々木材検査所
印

書 知 告

右明治年月日限、何郡縣出納吏(何郡何町(村)收入役)へ拂
込上へシ

何郡何町村長 氏名印

歌山縣報 第105號 明治四十四年三月十八日

印	制	額稅	數	坪
		一金		
第三號書式	(用紙適官縱五寸ノモノ二枚 横四寸 縦三寸五分ノモノ一枚接續)			
第 號	人納	縣	町 村 大字	
一金				
但木材川下稅豫納金				
右明治年月日限，何郡縣出納吏(何郡何町(村)收入役)へ拂 込ムヘレ				
明治年月日				
何郡何町村長氏名印				

第三號書式

(用紙適官縦五寸横四寸ノモノ一枚縦五寸横三寸五分ノモノ一枚接續)

何々木材檢查所印

領收書通知書

明治年月日收入
但木材川下稅豫納金

(何郡役所縣出納吏氏名印)

一金

第 號	人納 印制	右領收 ス	一金	但木材川下稅豫納金	印制
人納	縣 町 大字	明治年月日	何郡役所縣出納吏氏 (何郡何町(村)收入役氏名印)	印制	

何郡長氏名殿

書式第四號

追徴若ハ還付ヲ爲シタルトキハ其旨備考欄ニ記入スヘシ

書式第五號

此番號ハ検査ト同一ノ番號ヲ記入ス

番號 第一號 木材川下税課標準報告

納稅管理人

縣

市郡

町
村
大字

納稅人

縣

市郡

町
村
大字

類種

計

稅額 坪
才又
數

右ハ明治年月日當検査場ニ於テ課稅標準検査致候付此段及御報告候也

明治年月日

何々木材検査所

第六號書式

日年月
號番

床及本數

種木

別縣

才數

別縣

稅額

川入地

備考

乘夫氏名

住所氏名

郡村

治明 日月年十四治明
第 號 第

杉	計	櫛	雜	檜	杉
和	奈	和	奈	和	奈

日 月 年 十四					
號					
計	櫛	雜	檜		
和	奈	和	奈	和	奈
和	奈	和	奈	和	奈
和	奈	和	奈	和	奈

○和歌山縣調令第十三號

和歌山縣痘病豫防事務所

其ノ所處務規程左ノ通相定メ明治四十四年四月一日ヨリ施行ス
明治三十八年五月訓丙第七號ハ本規程施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

明治四十四年三月十八日

和歌山縣知事 川上親晴

監病豫防事務所處務規程

第一條 所長主事及主任ハ職制ノ定ムル所ニ從ヒ所務ノ整理ニ付其責ニ任ス

第二條 所長事故アル時ハ主事其ノ職務ヲ代理シ主事又ハ主任事故アルトキハ主席監病豫防吏員
其ノ職務ヲ代理ズ

第三條 豊病豫防吏員ハ法令ニ基ク職務ノ執行ニ付其ノ責ニ任ス

第四條 所長ハ左ノ事項ヲ限リ適宜處分ヲナスコトヲ得此場合ニ於テハ直ニ之ナ知事ニ報告スヘシ

一 職員ノ事務分擔ヲ定ムルコト

二 職員ノ管内出張巡回ニ關スルコト

三 緯算定額内ニ於テ助手小使及傭人夫ヲ雇入ル、コト

第五條 所長ハ部下職員ノ進退賞罰ヲ知事ニ具申スルコトヲ得

第六條 所長及主任ハ所務ニ關シ所名又ハ職名ヲ以テ他府縣豊病豫防事務所又ハ本縣所屬ノ各席又ハ關係當業者若ハ其ノ團体ト文書ノ往復ヲナスコトヲ得

第七條 所長ハ毎會計年度後一ヶ月以内ニ前年度ノ豊病豫防事務功程表並重要ナル所務報告書ヲ

第八條 職員ヨリ知事ニ提出スル書面ハ總テ所長ヲ經由スヘシ

第九條 所長ハ知事ノ認可ヲ經テ處務細則ヲ定ムルコトヲ得

○告示

○和歌山縣告示第九十一號

明治四十三年九月本縣令第三十九號犢牛去勢獎勵規則ニ依リ明治四十四年度ニ於テ去勢ヲ施行ス
ヘキ犢牛ノ頭數ヘ二百頭限トス

明治四十四年三月十八日

和歌山縣知事 川上親晴

○和歌山縣告示第九十一號

更鶴漁業免許狀書換ニシテ左記事項ヲ免許漁業原簿ニ登録ス

明治四十四年三月十八日

和歌山縣知事 川上親睦

明治三十七年一月二十六日免許第二〇號

一區割漁業第一種漁業海苔養殖建養殖業

一書換ノ事由 明治四十三年十二月十八日代表漁業權者島瀬之助ヨリ漁業權讓受ニ因ム

一讓受人 海草郡紀三井寺村大字布引

○和歌山縣告示第九十三號

左記自轉車鑑札ハ今般紛失ノ旨届出ニ依リ自今無効トス但シ其ノ所在ヲ發見シタル者ハ最寄都市役所ヘ申出ツヘン

明治四十四年三月十八日

和歌山縣知事 川上親睦

番號 分失年月日 住 所 氏名

一六〇 明治四十四年一月一日 東牟婁郡新宮町二五一番地 中家安次郎

○辭令

○明治四十四年三月十五日

土木巡視員ヲ命ス

屬 松尾孝夫

任和歌山縣伊都郡書記

給十級俸

勳七等

刀禱與四郎

○明治四十四年三月十六日

和歌山縣立和歌山高等女學校教諭ニ任ス

林昇太郎

九級俸ヲ給ス

○町村吏員ノ異動

○明治四十四年三月十六日認可

東牟婁郡四村助役

玉置貞平

○観測

自三月十日至三月十五日氣象

(和歌山測候所観測)

種目	前年		本年		前年		本年		前年		本年	
	三月	十月	三月	十月	三月	四月	三月	四月	三月	五月	三月	五月
平均氣壓	七六六耗一		七六〇耗二		七六八耗七		七五五耗三		七六一耗四		七六一耗五	
平均氣溫	四度三		一三度六		一三度八		一三度八		八度九		八度九	
最高氣溫	八度四		一九度二		一二度二		一七度三		一一度七		一一度七	
最低氣溫	〇度二		八度四		一八度〇		五度四		五度一		五度一	
最多風向	北		西		西		南		北		北	
平均風力	三米七		二米五		一〇度八		一〇度八		一〇度五		一〇度五	
天氣	晴		西		西		南		北		北	
降水量	牛晴少雨		二米〇		水点下二度三		一二度八		一二度一		一二度一	
記事雜象	牛晴少雨		晴		水点下二度三		一〇度八		一〇度五		一〇度五	
晚間結霜	牛晴少雨		西		西		南		北		北	
午後降雨	二午前九時		二米〇		二〇度八		一七度三		一七度一		一七度一	
午後降雨	二午前九時		北		一〇度八		五度四		五度一		五度一	
朝間降雨	朝間降雨		北		一〇度八		五度一		五度一		五度一	
終日時々降雨	終日時々降雨		南		一〇度七		五度一		五度一		五度一	
午後十時	午後十時		北		八度五		四度四		四度四		四度四	
雨久強風吹	雨久強風吹		北		雨久強風吹		三度〇		三度〇		三度〇	
記事雜象	記事雜象		北		北		北		北		北	

明治四十四年三月十七日
（毎月三日六日九日十一日十五日十八日二十日二十四日二十七日三十日受行）